

# 水道施設の耐震性能、耐震性向上に関する取り組み

## 1 浄水場の耐震化

災害に強い水道システムを目指して、浄水場の耐震化を進めてきた結果、平成26年度に完成しました。

### (1) 事業概要

当企業団の浄水施設は昭和49年から昭和55年にかけて建設された旧建築基準法に基づく施設であり、水道システムのなかにおいては重要な基幹施設であります。

しかしながら、過去に構造的な補強工事は施されていないため、兵庫県南部地震以降に改訂された「水道施設耐震工法指針・解説（1997年版）」等の耐震基準に準拠し、構造的な耐力を見直す耐震診断を実施しました。

その結果、耐震性能が不足すると診断された、沈でん池・急速ろ過池・浄水池・濃縮槽の耐震補強工事を実施しました。

### (2) 事業経緯

平成18年度	浄水場耐震診断業務委託
平成22年度	浄水場耐震補強実施設計業務委託
平成23年度	急速ろ過池耐震補強工事
平成24年度	浄水池耐震補強工事（H24～H26）
平成25年度	沈でん池耐震補強工事
平成26年度	濃縮槽耐震補強工事

### 沈でん池耐震補強工事

着手前



完成



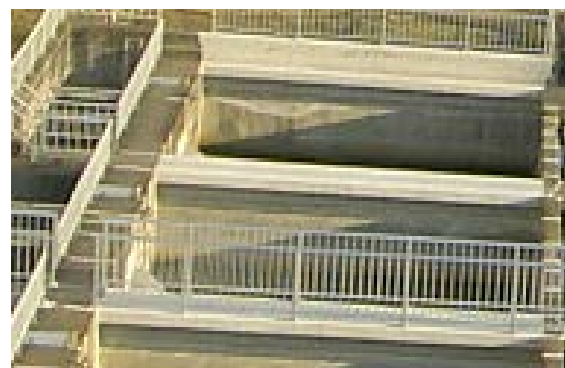
沈でん池天端PC補強梁設置

### 急速ろ過池耐震補強工事 その1

着手前



完成



歩廊部等の耐震補強

## 急速ろ過池耐震補強工事 その2

着手前



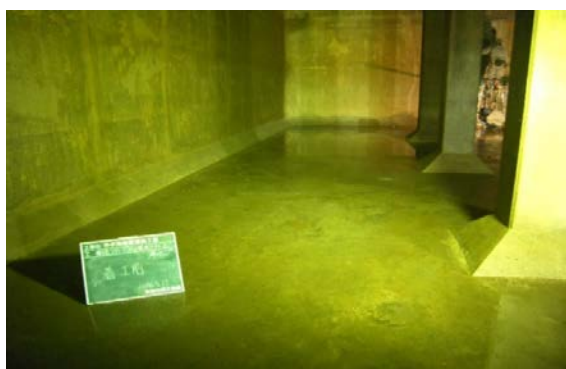
完成



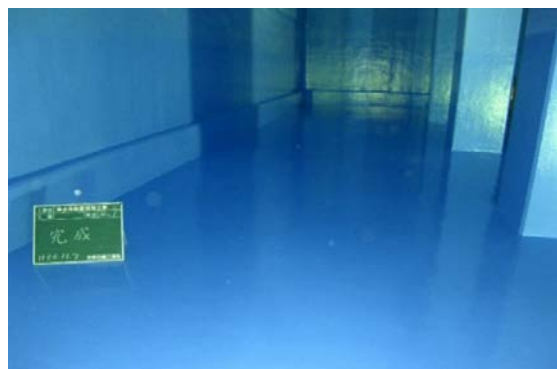
排水渠耐震補強梁設置

## 浄水池耐震補強工事

着手前



完成



内部壁増厚工法による耐震補強

## 濃縮槽耐震補強工事

着手前



完成



濃縮槽天端RC補強梁設置

## 2 基幹管路の耐震化

送水管東幹線及び飯岡支線に約9 kmの石綿セメント管が布設されていたため、平成15年度から平成23年度にかけて約6 kmを道路状況に合わせて耐震管に順次更新し、残り約3 kmについては、平成27・28年度で更新を予定しています。